

表彰誇りに尽力を

萩原・東邦・古谷など栄誉

千葉県道事務所の2017年度優良工事等事務所長表彰式が7月12日、事務所202会議室で行われた。八尾光洋事務所長(はいさつ)に立ち、「災害時の『地域の守り手』として、建設産業の重要性が一層高まっている。平素から連携強化を図るとともに、緊急時には皆さまの力が必要になる」と述べ、協力を要請。加えて「表彰されたことを大きな誇りとし、今後とも技術力向上や人材育成に尽力され、適切な施工と良好な品質の確保、ひいては地域・建設産業の発展に努めていただきたい」と期待を寄せた。

17年度に完成・完了した工 請け技術者1人、難工事功 彰された。 事43件・業務64件から、優良工 9件、優良業務5件・優秀技 事5件・優秀工事技術者5人、術者5人、建設産業担い手の 萩原土建(株)の中山潤専務取締 優良下請け企業1社・優秀下 確保・育成貢献工事1件が表 役は「今回の受賞を機に、建

設技術・業務精度の一層の向 上と経営基盤強化に努めると ともに、国土強靱化につなぐ る県内公共施設整備、住民生 活の安全安心の確保、地域経 済の活性化に貢献していかね ければならないと考えてい る。今後とも行政機関や住民 の期待に応じるべく、より一 層の精進を重ねていく」と引

表彰式あいさつ 八尾光洋事務所長



千葉県道事務所の優良工事等表彰受賞者の皆さま、そして7月11日に局長表彰を受賞された皆さま、本場におめでとう申し上げます。心からお祝いを申し上げます。

他方、6月の大阪府北部を震源とした地震により、大阪府北部・高槻市・枚方市・茨木市・箕面市の5市区で最大震度6弱を観測、大きな被害が発生しました。

さらに6月末から、台風7号および前線の影響に伴う記録的大雨により、西日本で大きな被害が生じました。事務所から、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)隊員2人を派遣し、被災自治体の支援を行っております。

近い将来、首都直下地震の発生が予想されています。最

近頃は東部沖において、地下のプレートがゆっくりとずれ動く『スロースリップ現象』が起き、大地震の発生が心配されています。

自然災害が増加する中、災害時の応急復旧や復興などを担う『地域の守り手』として、建設産業の重要性が一層高まっています。

災害時、現場で真っ先に活動するのは地域の建設企業です。2017年9月に富津市竹岡で発生した国道127号土砂流出の際には、地元製造園土木会社が一番に駆け付け、ご尽力いただきました。

平素から建設業界と道路管理者の連携強化を図るとも

に、緊急時には道路啓開や道路復旧対応など、皆さまの力が必要になります。ご協力をお願いいたします。

建設業においては、生産性の向上が避けられない課題となっております。ICTの活用などにより生産性、安全性などを向上させ、若者にとって魅力ある建設現場を目指すi-Constructionを推進してまいります。

受賞者の皆さまは表彰されたいことを大きな誇りとし、今後とも技術力向上や人材育成に尽力され、適切な施工および良好な品質の確保、ひいては地域・建設産業の発展に努めていただければと思います。

八尾事務所長(前列右から7人目)を囲んで喜びの受賞者



受賞者代表謝辞

萩原土建株式会社 中山潤専務取締役



栄えある表彰をいただき、衷心より感謝申し上げます。私ども建設関連企業は、地域住民の日常生活において密接に関係する道路や河川・海岸等の社会資本整備事業を支える担い手であることから、台風やゲリラ豪雨等の自然災害に備えるとともに、いざ自然災害が起きたときにはいち早く現場に駆け付け、昼夜問わず迅速な復旧作業に当たるなど、地域住民生活を守るため日夜活動いたしております。今回の受賞を機に、建設技

優良工事・優秀工事技術者

工事名
H27・H28北千葉道路松崎地区改良その4工事
施工者 萩原土建株式会社
監理技術者 木田智氏



難工事功労

工事名
H28・H29国道37号市川共同溝補強その7工事
施工者 古谷建設株式会社



難工事功労

工事名
H29国道6号北柏高架橋補修工事
施工者 東邦建設株式会社



建設産業担い手の確保 育成貢献工事

工事名
H27・H28北千葉道路松崎地区改良工事
施工者 東邦建設株式会社



【表彰理由】
中学生の職場体験学習や、地元高校生を対象としたインターンシップを開催した。若手職員を担当技術者として積極的に活用し、測量、出来形管理などを補助。また、『土木施工支援システム：TS・データコレクタを用いた施工管理システム』を実践させた。そのほか、現場事務所の充実や、若手職員の4週6休以上に取り組んだ。

【工事概要】
国道6号北柏高架橋全体の補修。補修作業について、本体を昼間、橋面部を夜間に行うため、施工体制の工夫が必要だった。

【表彰理由】
現場条件等やマネジメント特性から、難度の高い工事として指定されていたが、良好な施工により完成させた。

【工事概要】
国道357号市川共同溝における液状化対策として、既設共同溝の両側に排水機能付き鋼矢板を施工。

【表彰理由】
現場条件等やマネジメント特性から、難度の高い工事として指定されていたが、良好な施工により完成させた。

【表彰理由】
狭い場所での工事だったが、施工管理を適正に行った。成田スカイアクセス線に近接することから、管理体制を強化。鉄道事業者と調整を密に図りながら工事を進めた。監理技術者は、工所用道路に関する提案などを行い、工事の進捗に寄与。隣接地権者との調整を丁寧に行い、擁壁や機能補償道路などを遅滞なく完成させた。

総合建設業・がれき類中間処理業

東邦建設株式会社

代表取締役 宮村亮祐

〒286-0133 成田市吉倉 150-18 TEL: 0476-22-7301 FAX: 0476-22-7304



萩原土建株式会社

代表取締役 萩原 仁

〒289-1603 山武郡芝山町大里 1553-3 TEL: 0479-78-1131 FAX: 0479-78-0646

受賞おめでとうございます



FURUYA Corporation

古谷建設株式会社

代表取締役 古谷 務

〒289-1733 山武郡横芝光町栗山 3195-1 TEL: 0479-82-3311 FAX: 0479-82-3314